

～計画地の地盤の安全性を確認するための診断～

事前地盤診断レポート

〇〇様 戸建住宅計画



〇〇工務店

G I P S ネットワーク

診断場所：静岡県沼津市地内

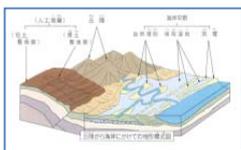


項目	判定	記号判定	項目説明
土地条件	台地 段丘 (低位面)	○	土地条件は地表面では分かりづらい本来の土地の歴史がわかり、家の建築基礎の判断に利用されます。
近隣地盤補強工事の有無	有	×	近隣での地盤補強工事実績はあくまでも参考例であり、実際には敷地内での調査を行う必要があります。
地震時のゆれやすさ情報	有	○	限られた情報により判断をしております。軟弱地盤であれば、揺れが増幅する傾向があります。
土壌汚染情報	情報なし	敷地内で調査することをお勧めします	土壌汚染調査のすべてを調査するには大きな費用が必要なため、簡易調査で、まず、手に触れる範囲を概略確認することをお勧めします。
自然災害危険地区情報	情報なし	専門家に相談することをお勧めします	土砂崩れやがけ崩れ、地すべり地区などハザードマップが参考になります。

○:良好 ×:注意

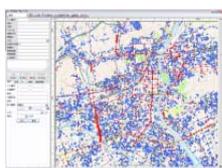
～診断補足説明～

土地条件



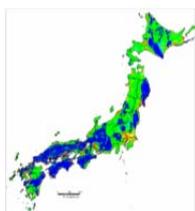
土地の安全性は、地形や地盤の特徴を知るところから始まります。地盤は数万年以上の時間をかけてゆっくりと形成されます。頑丈な地盤や軟弱な地盤、また表土部分が造成により盛土されているなど、条件はさまざまです。まずは既往資料からどのような条件の土地なのかを調査します。

近隣地盤補強工事の有無



全国で10万件以上の地盤データベースから、お客様の建築予定地周辺の地盤について情報を集めることができます。これらの情報は日々更新されているため、常に最新情報が確認できます。しかし、あくまでも近隣の地盤データなので、詳しい状況は建築予定地の地盤調査が必要になります。

地震時のゆれやすさ情報



各地域により地震による被害想定は大きく異なります。内閣府が公開している「表層地盤のゆれやすさ全国マップ」では、全国の表層地盤のゆれの強さを参考に、地震が発生した場合の危険度について調べることができます。

土壌汚染情報



環境省が公開している「土壌汚染対策法に基づく要措置区域・形質変更時要届出区域」（土壌汚染対策法第6条1項に基づく）では、全国の土壌汚染の情報を調べることができます。しかし、戸建住宅の敷地は盛土造成されている場合が多いので、手に触れる表土については、個別に調査することをお勧めします。

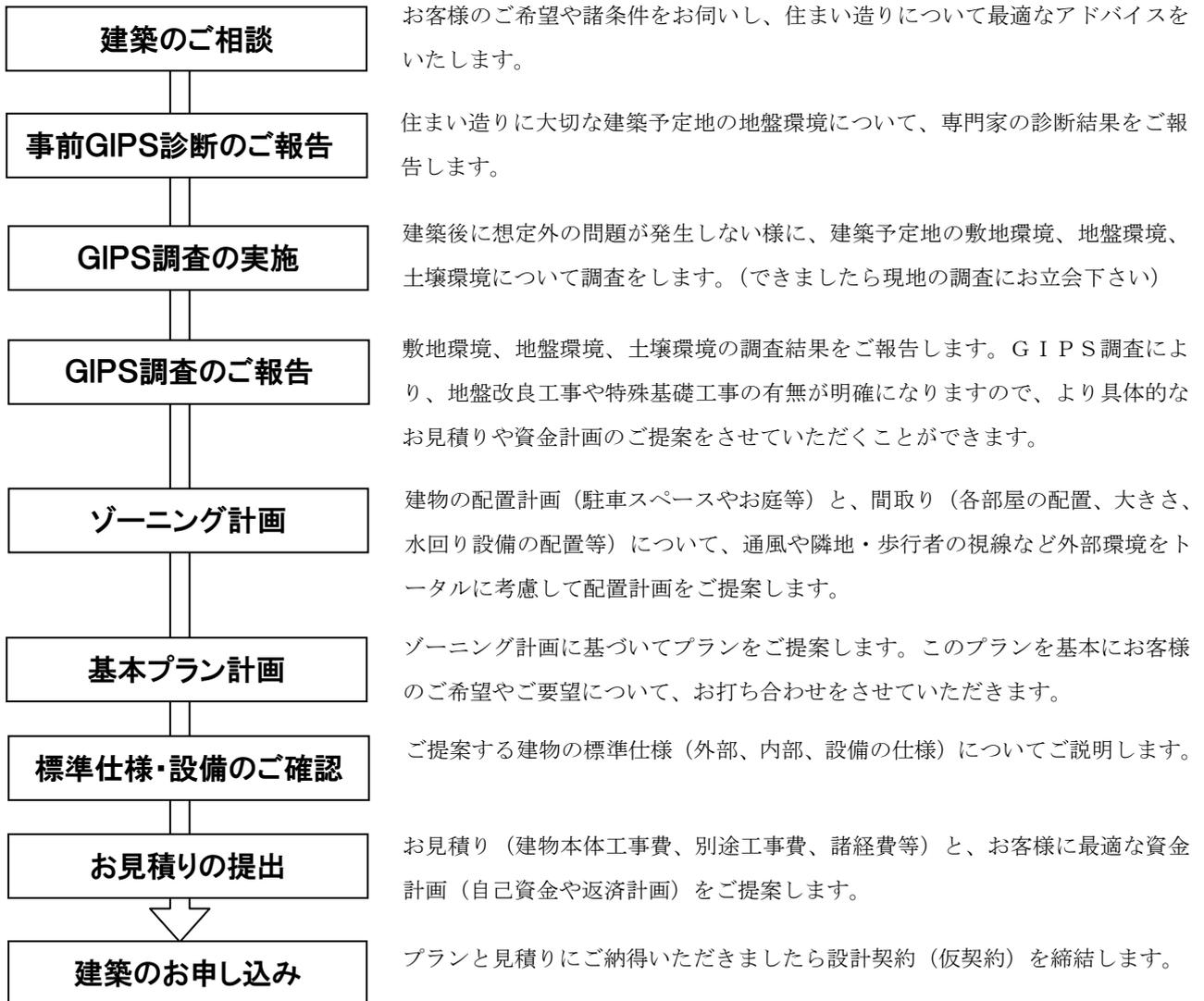
自然災害危険地区情報



私たちの生活を脅かす自然災害については、国土交通省が公開している「ハザードマップ」で調べることができます。地震災害や水害などの自然災害について、どのように危険が及ぶのかを、それぞれの地域ごとに情報が集められています。

※地域により情報がありません。

住まいづくりの流れ



～私たちからのメッセージ～

私たちは、お客様に安心して暮らしていただけるように、プランニングの前には建築予定地について厳密に調査をさせていただきます。どんなに良い住宅も、住宅が建っている土地がしっかりとしていなければ、安心して暮らしていただくことができないでしょう。私たちは、良い住宅を提供するには、安全な良い土地を提供することが必要であると考えております。

そこで、プランニングの前に建築予定地の敷地環境調査、地盤環境調査、土壌環境調査(GIPS調査)を行い、建築予定地の条件をしっかりと把握した上で、安心して暮らしていただける住宅をご提案させていただきます。



■ご連絡先■

〇〇工務店 担当；〇〇

〒〇〇〇-〇〇〇〇 岡山県岡山市南区福吉町地内

TEL：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

E-mail

URL